

# ISO45001 労働安全衛生マネジメントシステム

## 規格の構成及び 特徴と取組みポイント

インターテック  
労働安全衛生/品質/環境審査員

高橋 猛

### 特集

前号では、ISO45001とはどういったものなのかについての概要をご紹介しましたが、今号では、もう少し具体的に、本規格の構成及び特徴、また取り組まれる際のポイントについてご紹介いたします。導入・運用時のご参考にしていただければ幸いです。（編集部）

※ISO45001の発行に伴い、OHSAS18001はISO45001に切り替わります。

リスク」、「OHSMS機会」の4つのリスク及び機会を決定・評価する事が必要になります。労働災害を防止する上で最も重要なのは、従来から行われた「OHSリスク」を重点的に実施して下さい。（参照：表1、図2）

1

### ISO45001:2018 規格の構成

ISOマネジメントシステム規格の「共通テキスト(Annex SL:附属書SL)」が採用されたことにより、ISO9001や14001などと規格の構成や用語の定義などを共通化している点が挙げられます。これにより、既存のマネジメントシステムに取り組んでいる組織は、労働安全衛生を統合マネジメントシステムとして運用することが容易になりました。

2

### ISO45001:2018 規格の特徴

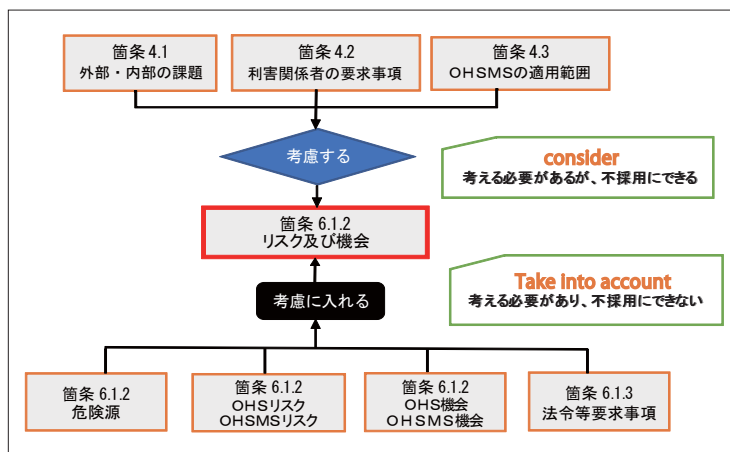
- ①経営層のリーダーシップ・コミットメントが重視され、不安全行動や不安全状態のみにとらわれず、その背景にあるマネジメント、さらに大きな影響を及ぼす組織の「文化」にまで着目し、働く人々の安全と健康を最重要と位置付け、率先したトップダウンが不可欠となりました。
- ②「リスク及び機会」という考え方が導入され、「OHSリスク」、「OHS機会」、「OHSMS

【表1:リスク及び機会の4つの意味と例】

リスク及び機会	意味	例
労働安全衛生リスク【OHSリスク】	働く人の負傷や疾病につながるリスク	はさまれ・巻き込まれ、墜落・転落、腰痛、中毒等の労災発生時のリスク、メンタルヘルス不調
労働安全衛生マネジメントに対するその他のリスク【OHSMSリスク】	OHSMSに悪い影響を及ぼすリスク	・機械設置や化学物質の専門家の不足 ・製造工程や組織の大幅な変更 ・労働安全衛生に関する予算の削減
労働安全衛生機会【OHS機会(好機)】	労働安全衛生パフォーマンスの改善につながる良い状況	・4Sを進めて、安全性を高める ・危険体感を通じて危険感受性を高める
労働安全衛生マネジメントシステムに対するその他の機会【OHSMS機会(好機)】	OHSMSの改善につながるような良い影響を与える状況	・化学物質のリスクアセスメントのプロセスを改善する ・労働安全衛生スタッフの専任化

(参照：中央災害防止協会主催「ISO45001規格の理解と実践研修」講習会資料、労働調査会発行書籍「労働安全衛生マネジメントシステムISO45001実践ハンドブック」)

【図2:リスク及び機会の決定時の考慮事項】



【表3: 管理対策の優先順位】

(1) 設計や計画の段階における措置
危険な作業の廃止・変更、危険性や有害性の低い材料への代替、より安全な施工方法への変更等
(2) 工学的対策
ガード・インターロック・安全装置・局所排気装置等
(3) 管理的対策
マニュアルの整備、立ち入り禁止措置、ばく露管理、教育訓練等
(4) 個人用保護具の使用
個人用保護具の使用は、上記(1)~(3)の措置を講じた場合においても、除去・低減しきれなかったリスクに対して実施するものに限られます。

(出典: 中央災害防止協会HP)



### 3

#### ISO45001 取組みのポイント

- ① 現状の労働安全衛生管理の実態を把握し、有効性を確実に把握(ギャップ分析)することです。
- ② 危険源の特定とリスク評価(リスクアセスメント)は、現場重視に実施することが大事です。
- ③ 労働安全衛生法は複雑ですが、体系的に理解し、コンプライアンスを確実にすることが不可欠です。そのためには、条文のみを覚えるのではなく現場のリスクに適用させて考えることが必要となり、リスク管理策のプロセスが必要です。(例: 非定常作業管理、保護具管理など)
- ④ 労働安全衛生法令等の適用となる要求事項(法律、省令、告示・指針、条例、環境法令)を決定し、コンプライアンス監査を実施することで法順守義務を満たすことが大事です。(参照: 表3)
- ⑤ 労働安全衛生の経験に基づく力量のあるメンバーを揃えた構築チームを編成することです。(経営層の関与が不可欠)

- ⑥ 労働安全衛生委員会を最大限活用し、二重構造にならないように留意して下さい。
- ⑦ ISO45001の附属書Aを熟読して規格を十分に理解し、日本の労働安全衛生管理の長所(JISQ45100の追加部分)を参考に、OHSMS機会として取り組み、現場のパフォーマンス向上に繋げて下さい。

ご安全に!

#### 筆者紹介

#### 高橋 猛 (たかはし たけし)

住友金属鉱山株式会社で、日本及び海外工場の製造設備の本質安全化設計や据付工事の安全管理監督業務に約20年従事した後、事業所(社員約2000名)全体の労働安全衛生管理事務局で労基署等関係官庁の窓口、労働安全衛生マネジメントシステム構築、運用管理、危険体感施設の企画・設計の業務に約20年従事。ISO9001/14001/45001審査員。電子製品・部品、計装機器専門。愛媛県新居浜市在住。

